

令和5年度 学校評価 自己評価書（後期）

- 1 学校教育目標
自ら深く考えて自己決定し、より良い言動がとれる子供を育てる。キャッチフレーズ「よく考え、よいと思ったらすぐやる」
- 2 学校経営方針
 - I 学ぶ意欲と姿勢、確かな学力の育成
 - II 豊かな心の育成及び教育環境の整備
 - III 健やかな体の育成及び安全・防災意識の高揚
 - IV 教職員の資質向上及び信頼される学校づくり
- 3 課題と改善策(数値は、達成度を%で表示、下段は前期数値、↑↓は2ポイント以上の差があるもの)

評価対象	区分・評価項目	達成状況	教職員 平均	保護者 平均	児童 平均	評価結果と改善方策
学ぶ意欲 と姿勢、 確かな学 力	分かる授業	77.9 ↑ (75.9)	72.9 - (71.4)	76.2 ↑ (72.5)	83.5 - (84.0)	日々の授業を工夫して行うことができた。 授業に意欲的に臨む姿勢が高まってきている。(2) 子供たちの様子をしっかりと把握し、意欲につながる 言葉かけを行うことができた。 個人差が大きく、個別指導が十分できていない。(3) 困り感のある児童への手立てを工夫していきたい。 放課後の時間がない。教材研究が疎かになって しまう。教具準備やICT活用を考えたりでき ず、深まりのない授業になってしまう。
	基礎・基本の定着		76.5 - (75.6)	75.3 ↑ (71.2)	82.8 - (83.3)	
	適切な評価		80.0 ↑ (76.9)	80.4 ↑ (76.7)	84.5 - (84.0)	
	家庭での学習習慣・読書		73.5 ↑ (70.4)	67.0 - (66.1)	76.7 - (78.0)	
	ICT活用		75.7 ↑ (71.3)	74.6 ↑ (67.1)	89.1 - (90.0)	
豊かな 心、教育 環境整備	キャッチフレーズ	80.2 - (78.5)	76.4 - (75.6)	70.5 ↑ (67.5)	77.8 - (77.5)	協力しながら担当区域を清掃できている。 移動時間が短く、掃除に遅れる児童が多い。昨年度 に比べ、環境整備が行き届かない。 帰りの会などで身の回りを整理整頓する時間を設けて いる。 友達を呼び捨てで呼ぶ子供が多い。学級で指導して も、他の場で呼び捨てしているので改善されない。 豊かな心の育成については、機会をとらえ繰り返し指 導しているが、今後も継続した指導が必要である。 昼休み等、担任不在で特別教室を自由に使用してい るがよい。晴天時にも多くの児童が家庭科室で過ご す様子が見られる。雨天時は、室内でカードゲームを してもよいとなっているが、天候にかかわらずカード ゲーム以外のものでも遊んでいる様子も見られる。
	自己肯定感(3S)		81.8 ↑ (79.3)	71.9 ↑ (66.8)	74.5 - (75.2)	
	自問清掃		83.8 ↑ (78.7)		82.2 - (83.3)	
	あいさつ		84.0 ↑ (79.9)	74.6 ↑ (69.8)	85.8 - (87.2)	
	言葉遣い		84.5 ↑ (80.5)	66.9 - (65.0)	72.5 - (73.3)	
	思いやり・親切		86.1 ↑ (81.1)	80.6 - (80.1)	85.4 - (85.8)	
	学校のきまりや約束		85.7 - (86.0)	83.8 ↑ (80.6)	84.6 - (85.7)	
	家族の一員としての役割		83.1 ↑ (75.7)	80.4 ↑ (76.7)	78.7 - (79.5)	
	楽しい学校		80.6 - (81.9)	84.6 - (85.5)	86.6 - (86.7)	
健やかな 体の育 成、安全・ 防災意識	睡眠・朝食		76.4 ↑ (70.9)	80.3 ↑ (78.0)	80.0 - (80.3)	朝のかけあしなど体力作りを呼び掛けた。 持久走大会に向けた取組みにより、体力向上を意識 させることができた。 体力向上を図るための教科体育授業の1工夫1改善 が必要である。
	体力づくり		80.0 ↑ (69.2)	80.4 ↑ (78.4)	82.7 - (82.5)	

					個人差があり、外で体を動かす子と教室内で過ごす子がいる。寒くなってくると、教室から出たがらない。
	感染症対策	81.5 - (80.2)	75.7 ↓ (82.5)	80.1 ↓ (83.7)	85.9 - (85.5)
	学校の施設・設備		84.7 ↑ (81.6)	78.1 ↑ (75.7)	教育環境整備は、予算的な面もあり、改善が難しい。UDを意識した教室設備が必要である。教室や校舎内整理整頓心がけるべきだと思う。(2)全員が元あった場所に帰すことができれば、紛失もなくなるし、環境も整っていくのではないかなと思う。
	学校の安全教育		86.1 ↑ (81.3)	80.4 - (81.0)	87.9 - (88.0)
教職員の 資質向 上、信頼 される学 校づくり	学校教育目標の達成	74.2 - (73.3)	79.7 ↑ (76.8)		
	人間関係		80.5 - (80.5)		
	職員会議		70.9 ↓ (76.2)		
	学校評価による改善		66.2 ↓ (70.2)		
	校内支援体制		68.2 - (68.5)		
	係間の連携		73.6 ↑ (70.8)		
	各学年・学級間の連携		82.4 ↑ (78.1)		
	年間指導計画		77.8 - (77.4)		
	授業日数や授業時数		81.4 - (80.4)		
	まとめと振り返り		72.2 ↓ (74.3)		
	研修組織・効果的な研修		82.6 ↑ (78.1)		
	仕事の管理		74.3 - (75.0)		
	業務改善		65.3 - (63.7)		
	個人情報保護		88.5 ↑ (85.1)		
	服務規律		87.2 ↓ (89.3)		
	保護者への情報提供		82.6 - (81.0)	75.3 ↑ (73.6)	
連携のための環境づくり	67.4 ↓ (70.1)	65.6 - (64.6)			
保護者への対応	83.8 - (85.4)	73.7 ↑ (71.4)			
					月曜日6校時後の会議では、十分な議論ができない。きちんと話し合うことができず、学校行事などで職員に臨機応変に対応を求める場面が多々あった。評価項目がやや多い。精選してみてもどうか。
					学年間の情報交換により、ICT活用や授業改善の工夫など教職員の資質向上につながったと思う。
					研修を通して、ICT(シンキングツール)の活用場面を考え、教材研究することができるようになってきた。クラブ・委員会活動が月曜日実施で初任研の時間設定が難しい。補教を6校時に組まなければならず、学習にも影響が出ている。→水曜日実施に戻してほしい。
					時間に追われ忙しく感じる。校時表改善や行事精選、放課後の時間確保などをしてほしい。
					管理職からの服務関係の情報提供により、改めて気持ちを律することにつながっている。保護者との信頼関係を築き、分かり合える環境づくりに努めた。

4 来年度に向けての取組

- 前期と比較すると、保護者や教職員平均値が、多くの項目で2ポイント以上向上し、児童平均値も80%以上となっており、改善がみられる。
- 「よく考え、よいと思ったらすぐやる」(キャッチフレーズ)や「毎日、自分と友達に3S(さすが！すごい！すばらしい！！)」(一事徹底)は、数値的には、職員や児童が76～77%、保護者も70%を超え、浸透してきている。発達段階に応じ、自ら深く考えて自己決定し、よりよい言動がとれる基盤となる知識及び考え方を身につけられるよう、自己肯定感の高まりに繋がるよう、来年度も全職員で全教育活動の中で取り組んでいきたい。
- コロナ禍も一段落しているが、マスク、手洗い、換気等の感染症対策への意識も高く、児童も確実な実施ができています。継続した取り組みを進めたい。一校一運動「なわとび」を中心とした体力向上にチャレンジできるように、引き続き活動支援していきたい。
- 業務改善については、教育課程改善を始め、工夫を図りながら、全職員で取り組んでいる。数値的には若干の伸びがみられるが、実感的にはこれからである。人員不足やデジタル化に伴う業務増加等の要因も克服しながら、校内支援体制とも合わせ、継続した取り組みを進めたい。